



学校教育目標

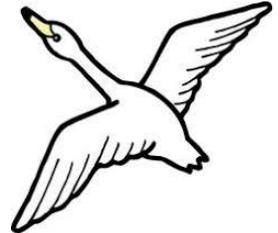
目標をもち、課題を解決しようとする子ども

坂本堤の白鳥

校長 六郷 博志

多くの子どもたちが登校し、後は東バスを待つばかりの 8 時頃、校門から森山の方を眺めていると、坂本堤から数羽の白鳥の集団が 2～3 分おきに飛び立っていきます。堤に降りていって、数百羽の鳥たちを時々間近に見ることがあります。どんな相談をしているのか、数羽ずつが滑走路に集まって羽ばたきと水を叩く音が高まり、見上げる私のすぐ上をかすめて八郎湖に向かって白鳥たちはゆっくりと飛行していく様はまさに圧巻です。空に映える真っ白な姿や整然とした編隊の美しさはもちろん、一羽一羽の巨体がゆったりと空を飛べることの不思議さと優雅さを、見るたびに彼らは感じさせてくれます。

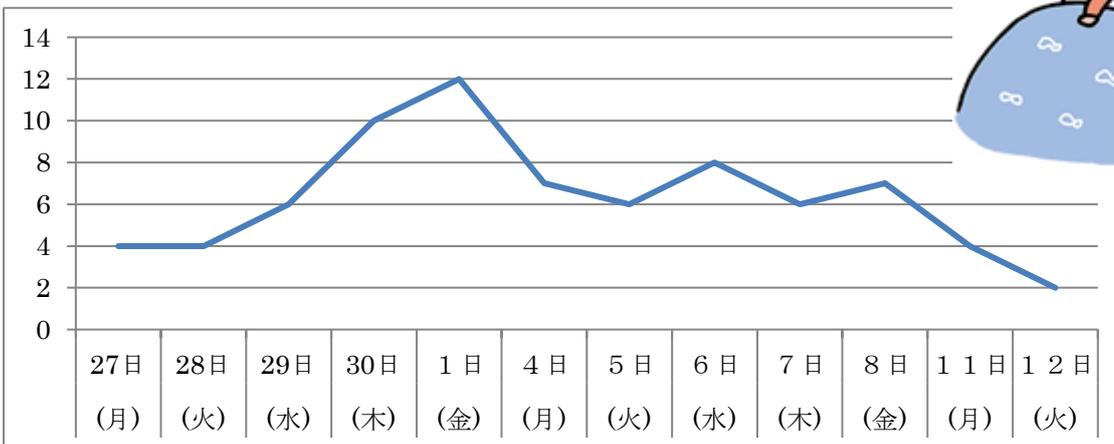
私が小学生の頃、国語の教科書に、新潟県水原町の瓢湖（ひょうこ）で白鳥の餌付けに成功した吉川重三郎の話が載っていました。青森と大阪の間を走っていた特急白鳥はこの湖の白鳥に由来していたことを知ったのはずっと後のこと。白鳥という瓢湖という連想は私たちの世代ではスタンダードでした。教員になってから一度、瓢湖を見にいったことがありました。しかし、この坂本堤の白鳥たちを見てからというもの、瓢湖の白鳥よりもずっと美しく楽しい姿を見せてくれると感じるのは、私が彼らにすっかり魅入られているからなのかもしれません。



引き続きマイコプラズマ肺炎に注意！

先月から流行が続いている「マイコプラズマ肺炎」により、3年生で罹患者が6人となったため、30日の午後と1日全日を学級閉鎖としました。その後、3年生では減少したものの、1年、4年、5年で依然として罹患者がいるなど、全校でなかなか終息せずに現在に至っています。

症状は風邪と似ています。医療機関を受診の際は、井川小でマイコプラズマ肺炎が流行していることを必ずお伝えください。



11月後半から12月前半のマイコプラズマ肺炎による欠席者(出校停止者)

※ 30日午後と1日は3年生が学級閉鎖をしました。

予防は・・・

論文コンテストで優秀賞をいただきました

子どもたちの縦割り活動や集会活動などががんばってきたことを論文にまとめ、日本教育公務員弘済会秋田支部の論文コンテストに応募したところ、10月末、優秀賞をいただくことができました。また全国大会への推薦も合わせていただいております。これも、子どもたちと先生方みんなでとった成果であり、保護者の皆さんとともに大いに喜び合いたいと存じます。

なお、月初めの全校集会でその報告をし、賞金の使い道についてアイデアを募ったところ、たくさんの応募がありました。今月中には児童会の企画委員会と相談をしながら、楽しい買い物をしたいと考えております。



井川小写真館

今年最後の月に突入しました。



29日、さくらっ子安全集会に、県警の音楽隊の皆さんがやってきて、演奏会を行いました。



7日、元気タイムがスタート。全校の子どもたちが廊下や体育館でなわとびをします。



8日、保健所の方を講師に招き、6年生が手洗い教室を行いました。

- ◇ 第23回岩手県少年少女レスリング選手権大会(11月26日)
小1～2年の部 第3位 高橋〇〇(1年) 第3位 林〇〇(2年)

- ◇ 第20回全県ジュニアバドミントン選手権大会(12月3日)
5年生男子ダブルス 第3位 鷲谷 〇〇〇

- ◇ 平成29年度秋田県小学生人権標語コンテスト(11月9日)
入賞 伊藤〇〇(6年)



個人写真を掲載しました



栄光の記録

個人写真を掲載しました

- ◇ 第37回湖竜旗争奪少年剣道大会(12月9日)
低学年女子の部 第3位 湊〇〇(3年)
第3位 佐藤〇〇(3年)
S低学年の部 準優勝 小林〇〇(2年)

